

「春」という単語を使う季節が到来しつつあります。啓蟄とは冬眠中の虫が穴から這い出してくる時期を示します。

人にも「春」という時期があるかもしれません。人生の春とは、まあ「思春期」のことかもしれませんね。

編集担当として思うことは、日々「春」を感じていたい、またいつも「虫のごとく」生を感じ、また「上昇」していたいということです。

とはいえ、この編集担当でも、日々記事ライターとの調整、社内・社外との連絡等なかなか日々「上昇」と言う訳にはいきませんが、なんとかその日を終え、また翌日が来ると朝日の中で元気になるように思います。

この編集担当が勤務する建物からは、寒い時期には大気の透明度が高く富士山をよく見ることが出来ます。

この朝日に、またエレベータホールから見える富士山に癒されながら、日々編集業務に没頭している昨今です。(土元)

最近では一般的になりつつある3D立体視映像ですが、見慣れてくるとメガネを掛けることによる画面の暗さや、画面切り替えによる残像感が気になってきます。特にコントラストの鮮やかなCG映画などは、3Dとの相性が良い反面、本当の色合いが伝わりにくく残念に思えてしまいます。残像についてもアナログテレビのゴーストのような二重線が常に表示され映像に集中できない時があります。現在それらを全くなくす事は技術上不可能と言われていま

すが、一つだけ解決する方法があります。

それがヘッドマウントディスプレイ (HMD) なのです。そんなもの見るに堪えない映像が関の山だ、と言われるかもしれませんが、ご安心ください、時代は進化しました。昨年、日本の企業が発売したHMDは今までの常識を覆すポテンシャルをもっています。720Pの有機ELを2枚搭載したHMDは暗さや残像感のない本当の3D映像を写し出します。現在もっとも未来を体感できるHMD。今後の発展に期待しています。(斉藤)

しばらく放っておいたノートPCやデジカメに充電をしても動かなかったとか、バッテリーの持ち時間が短くなったという経験はありませんか。

これは電気自動車 (EV) にも当てはまることのように、インターネット上でトラブルが報告された米国メーカーの某EVでは、バッテリー残量4分の1の状態でも6週間放置してしまったところ、まったく動かなくなったそうです。しかも、人力で押してもタイヤはびくりとも動かず、ドアの鍵を開けることすらできなかつたそうです。放置EVはレッカー移動できないとなると大変です。もちろん設計思想が違えば、そこまでひどい結果にはならないかもしれませんが、充電式バッテリーを使う限り、どのEVにもある程度似たような事象はついて回るだろうと思います。

ちなみに、修理するには3万2,000ドルもするバッテリーの交換が必要だったそうです。そんな事態に陥らないよう、EVドライバーはこまめな充電を心がける必要があるでしょう。(橋元)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

投稿をお待ちしています!

- ☆ 本誌ならびに電気通信工事業務に係わる建設的なご意見、ご感想、ご要望等をお寄せください。
- ☆ 400~800字程度
- ☆ 送付先 〒150-0033 渋谷区猿楽町3-3 (社)情報通信エンジニアリング協会『Raisers』編集委員会
- ☆ 採用させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

Raisers第60巻第2号(通巻第693号) 平成24年3月5日印刷 平成24年3月10日発行

定価630円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)